



ふじさわ体協

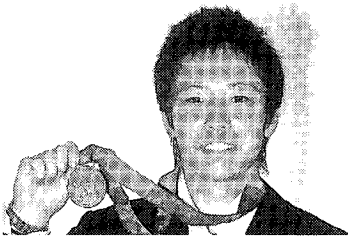
「藤沢市体育協会広報」第58号 発行日 平成16年12月16日
〒251-0026 藤沢市鵠沼東8-2

発行・編集 藤沢市体育協会
秩父宮記念体育館

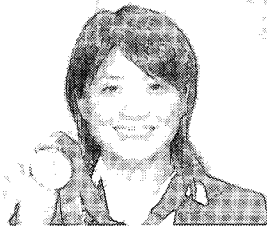
オリンピック発祥の地

さらに 藤沢市スポーツ栄誉賞も

アテネで栄光のメダルに輝く!



ソフトボール 山田選手



水泳 中村選手



ヨット(470級) 関選手

頑張つて!!と送り出した藤沢市ゆかりの選手全員が輝かしい成果を挙げて帰って来られた。

ソフトボールの山田恵里選手、セーリング男子四七〇級の関一人選手、競泳女子二〇〇m背泳ぎ中村礼子選手は皆銅メダル。テニス杉山選手四位、セーリング貝城選手二位です。

メダル三選手に、来るスポーツ人の集いに藤沢市スポーツ栄誉賞が送られることになりました。

『通過点』

ソフトボール日本代表

山田 恵里

高校からソフトボールを始め、その時からの夢であったオリンピックに出場する事ができました。しかし、私の夢にはまだ続きがあります。世界の頂点に立つ事が目標です。アテネオリンピックは銅メダルで、金メダルを獲得する事はできませんでしたが、多くの事を学びました。チームワークの大切さ、一球の重み、気持ち次第で変わるなど、今後のソフトボール人生に繋がる経験をさせてもらいました。

北京オリンピックに向け一瞬を全力で日々精進できる様に取り組みます。

次期北京オリンピックに向け 始動開始!

関一人君は小学校からヨットを始め、

中学の時1990年北京アジア大会にて金メダルを獲得、インターハイでも活躍、インカレには二年生で出場し日大6年ぶりの全国優勝に大きく貢献しました。

社会人としても国内のナショナルチームに入り470級候補選手で熾烈な予戦を乗り越え、最終クロアチア世界選手権で日本代表の座を勝ち取りアテネの本番では見事日本男子初の銅メダルに輝きました。

次期北京オリンピックでの更なる活躍を期待したい。(藤沢市ヨット協会)

中村選手活躍と今後の期待

湘南工科大学附属高校水泳部監督 堀川 博美

アテネでのレース時には自信に満ちた顔があり、堂々としたレースをしました。結果として100m背泳ぎは、残念ながら4位とメダルに届かず、他の日本チームの活躍に刺激されどうしてもメダルがほしいという思いがより強くなったそうです。200m背泳ぎは同タイム3位でした。メダルに対する強い気持ちがあったからだと思えます。人間性、水泳に対する考え方、取り組み、どれをとっても素晴らしい選手です。本人も北京オリンピックを視野に入れ、練習を開始しました。北京ではもっと素晴らしい色のメダルが取れることを期待しています。

藤沢市出身のラグビー 日本代表選手を応援しよう

今年の6月、藤沢市ラグビー協会に朗報が飛び込んできた。日本大学藤沢高校ラグビー部出身の武井敬司君(24歳)が平成16年度ラグビー日本代表強化合宿メンバーに選ばれたのである。武井君は小学校一年生から藤沢ジュニア・ラグビースクールでラグビーを始めその後、日大藤沢高校ラグビー部監督の松久保六男先生より、厳しさと礼節あるラグビーを学び、日本大学ラグビー部へ。現在はジャパンラグビー・トップリーグのNECに入社し、NECラグビー部でポジションの10番スタンドオフ(SO)や15番フルバック(FB)でプレイしている選手である。

日大藤沢高校ラグビー部卒業直前には、U19日本代表にも選ばれワールド遠征で活躍して来たが、今回は日本ラグビー最高峰の日本代表であるから格が違う。今回、日本代表強化合宿に招集され、新聞等のマスコミが武井君を日本代表の新戦力として取り上げた。6月に来日したイタリア代表との試合に日本代表選抜として15番フルバックで出場が決まり、6月30日の大阪・長居スタジアムでイタリア代表との第一戦ではスタメンメンバーの15番フルバ



ックで出場し、開始10分に先制トライで華麗なデビュー戦を果たし、その後、随所に攻守ともチームに貢献したが、5対22でノーサイドとなり最終的に武井君の一トライのみで、まずは善戦の試合であった。第二戦の7月4日、東京・秩父宮ラグビー場で行われたイタリア代表対日本代表とのテストマッチでは、22番リザーブで登録され、後半終了間際にフルバックで出場し、栄光のキャップを取得した。(キャップとは日本代表選手として国際試合に出場が認められた栄光ある冠のこと)尚、この試合は19対32で敗れたが、世界ランク11位のイタリアを相手に手ごたえある試合内容とのことでした。また、11月の日本代表欧州遠征(対スコットランド・対ウェールズ)でも日本代表の海外遠征に選ばれていく。この藤沢市で育ち学んだラグビー選手、武井君の今後益々の活躍を期待します。

体協から世界へ全国大会へ

活動の推進に務めスポーツ界発展の一助にしたいと思っております。(藤沢市ゲートボール連合競技部長)



近年ゲートボール人口は減少の途を辿りつつあります。一般的にゲートボールというと「老人門球」というイメージで若年層には敬遠されがちですが、今年の五月(大阪)十一月(長崎)の二回神奈川県代表として文部科学大臣杯日本大会等の際にも感じたことは十代から五十代の選手が沢山活躍しているということ、私が会長として主催する「夢はばたけクラブ」においても、十代から八十代の会員約二百名が技を競い合い楽しく競技をしています。

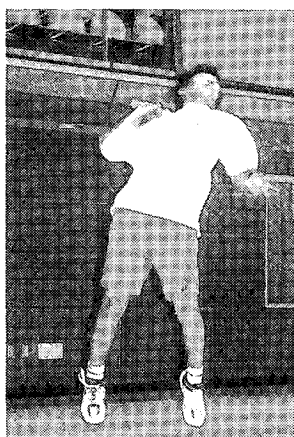
減少傾向にあるゲートボールを発展させるには、若年層を対象に選手一人ひとりがチームワークの大切さや作戦の面白さを実感し、それを伝え広めていかなければと考えております。

今後藤沢市体育協会のご支援を頂き乍ら機会あるごとに普及

これからのゲートボールについて 加藤新三

全国中学校 バドミントン大会に出場して 大清水中学校 平川大貴

僕はこの夏、全国中学校バドミントン大会に出場することができました。頑張ってきたつもりですが、自分自身が一番驚きました。しかしそこには多くの人たちの支えがあったと思います。いろいろ教えてくださった人たちに感謝して、これからはパワー、スピードをつける、また高校でも全国大会に出られるように頑張りたいと思います。



◆◆先生のコメント◆◆

大清水中学校 菅 章

校長先生を初め、学年の先生、部員、先輩、練習試合を通して指導してくれた各校の先生方の応援があったからこそ、県大会、関東大会を超え、全国大会への道が開かれた。彼は大きな未知の世界へ突入していきます。彼の心を育てた藤沢という「地域」の方々の応援をこれからもお願いします。

第55回 神奈川県総合体育大会

☆種目別競技成績

種目	成績	得点	種目	成績	得点
バレーボール(女)	優勝	36.0	バドミントン	5位	31.5
バスケットボール	優勝	36.5	水泳	8位	30.0
卓球	優勝	36.5	射撃	8位	30.0
サッカー	優勝	36.0	スキー	11位	26.0
柔道	2位	36.0	ソフトボール	1回戦	14.0
ゴルフ	2位	36.0	弓道	1回戦	17.5
バレーボール(男)	4位	33.0	野球	1回戦	9.5
ソフトテニス	5位	31.5	計		440.0

☆総合成績

順位	市町村名	得点
1	相模原市	527.5
2	大和市	517.5
3	横須賀市	493.0
4	横浜市	493.0
5	川崎市	485.5
6	小田原市	479.5
7	平塚市	464.0
8	藤沢市	440.0

女子バレー六連覇

今年度の県民総体に於て女子バレーボールチームは六連覇を達成致しました。



毎年少しずつ選手は入れ替わりは有ますが、試合前二ヶ月での練習で確実に、しつかりとしたチーム作りができる様になりました。

藤沢市のチームは、若さでは他のチームにかないませんが、若さだけでは出せない、「勝負時での強さ」が持ち味です。

これからも、良いチーム作りをして、勝ち続けていきたいと思えます。

キャプテン 渋谷裕子

バスケットボール優勝

今年の選抜チームは市内のクラブチームを中心に十二人を選抜しました。これまで本市が総合優勝を果たした時はバスケットボールも優勝し、総合優勝に貢献できました。

「君たちの優勝は本市の総合優勝」を合言葉に、クラブチームの練習会

場を借り、少ない練習時間ではありましたがチーム作りを行いました。試合は準決勝まで圧勝で決勝に進みました。決勝戦は同じく圧勝で駒を進めてきた強豪の横須賀市でした。立ち上がりから一進一退の競り合いは最後の最後に勝利の女神が藤沢チームに微笑んでくれたのでした。

- 1回戦 藤沢市 102 対 48 海老名市
- 2回戦 藤沢市 130 対 53 津久井町
- 準決勝 藤沢市 86 対 59 小田原市
- 決勝 藤沢市 80 対 76 横須賀市

卓球王国藤沢

一昨年まで前人未踏の6連覇(昨年は2位)を達成したわが藤沢市チームは各市が打倒藤沢を目標としている中、今年からチーム編成方法が大幅に変更となり、チーム編成で大変苦慮し、試合前は苦戦が予想されたが、選手が一丸となり予想以上の力強いプレーを展開して各市を寄せつけず優勝を勝ち取ったのである。特に決勝戦は小田原市、各試合とも熱戦、熱戦息詰る戦いの末4:3で勝ち、常勝藤沢名を示したのである。

来年も今年の優勝をステップに連覇を目指し選手一同決意を新たにしているところである。

- 雄 一実司新 子子林都
- 益 仁 幸 州敏歌奈
- 督本手上戸村間手西美美置
- 松選男 井山上本女安薩薩井

サッカー競技に優勝して

私達、サッカー藤沢市選抜チームは毎年9月の本大会に向け、6月から月一、二回練習会を行ないます。練習会ではゲームの中の共通意識(特に守備面)を持つことをトレーニングし、試合形式を多くしています。選手達は普段、敵味方に分かれて戦っていますが、年一度、チームメイトとして活動できるこの選抜チームを誇りに、そして楽しみにしています。本年度優勝できましたのもこの選手達のハート・技術そして協会の方々の陰ながらの応援のおかげです。



全国社会人9人制バレーボール大会 藤沢市役所男子バレー部初優勝

9月25日から27日の3日間富山県黒部市総合体育館を中心に開催された全国社会人9人制バレーボール男子優勝大会で藤沢市役所男子バレー部が初優勝を達成しました。

全国大会への予選会として、8月に埼玉県行田市で開催された関東9人制バレーボール産業人男女優勝大会で優勝し、出場権を獲得しました。全国大会は、各都道府県、プロック代表など全国から64チームが参加し接戦が繰り上げられました。

藤沢市役所チームは、予戦グループ戦では、北海道の札幌自衛隊を2対1で破り、決勝トーナメントに進出、初戦・2回戦とストレート勝ちし順調に勝ち進みました。3回戦では兵庫県の神鋼環境ソリューションと対戦し、第1セットを16対21で先行され、シーソーゲームが続くなか、最終セットも16対20と相手にマッチポイントを奪われる苦しい展開となりましたが、持ち前の粘りのバレーで最後まで諦めずジュースに持ち込み最後は24対22と奇跡的な逆転勝利を手に入れました。

迎えた決勝戦は、愛知県のクラブチーム、オールブラックスとの対戦となり、1・2セットとも中盤までシーソーゲームの展開となりましたが、藤沢市の好サーブなどで終盤抜けだし、2対0のストレートで勝利し、初優勝の栄冠を手に入れました。全国大会には、6年連続で出場し、2001年の旭川大会では準優勝に輝いた実績もありましたが、ここ数年は選手の怪我等もあり残念な結果に終わっていました。今年、新人の加入と選手全員が大きな怪我もなく大会に臨めたことが優勝につながったのではないかと思います。また、藤沢市役所の選手の平均年齢は35歳を越えており、今大会参加チームの内最高齢チームでの優勝となりました。今後新たな目標に向かって選手一丸となつて努力すること、はもちろん、バレーボールを通じて地域に密着した生涯スポーツの活動にも積極的に参加していきたいと考えます。



第59回 藤沢市総合体育大会

【総合成績】		【種目別優勝】	
優勝	高谷地区	バレーボール(男子)	大庭
準優勝	藤沢地区	バレーボール(女子)	藤沢
第3位	大越地区	軟式野球	高谷
第4位	片瀬地区	卓球	大庭
第5位	滝の沢地区	バドミントン	辻堂
第6位	明治地区	陸上	藤沢

編集後記

日本全国が歓喜したアテネオリンピックも終了して、今又我々は藤沢市ゆかりの選手の健闘を讚る紙面を編集し感激を新たにすることが出来た。武井さんは全日本選手として世界の舞台へ。全国大会では、バレーボール、ゲートボール、バドミントンが活躍。県総体の四チーム優勝を含む報告、市総体の結果も発表出来た。藤沢市スポーツ栄誉賞授賞式でもある「スポーツ人の集い」が待遠しい。

(広報担当理事)

木全 敬一

第20回 スポーツ人の集い

◆日時 平成17年2月19日(土)
午後5時30分～

◆会場 藤沢市民会館小ホール

第1部 式典

この一年間に活躍した選手・団体等に贈られる「藤沢スポーツ賞」の表彰

第2部 講演会

「海と夢と挑戦」

講師 浜崎 濠次郎氏



●プロフィール

- ・元NHK スポーツ教室 ヨット競技講師
- ・北京アジア大会監督
- ・バルセロナオリンピック監督

現在 神奈川県セーリング連盟理事長